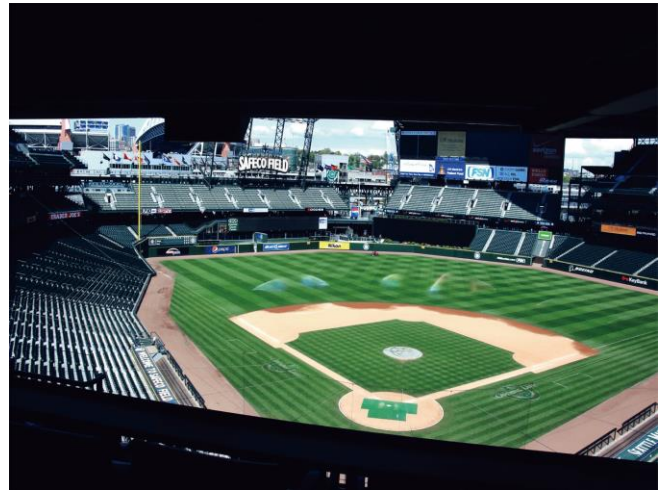


スポーツが作ったアメリカー実験国家の社会形成と文化創造

自由と平等の理念を持つ、移民国家アメリカにおいて、スポーツは日本人の想像以上に大きな存在感を持っています。アメリカ発祥のスポーツ、野球、アメリカンフットボール、バスケットボール、これらのスポーツがその骨格を整えた時期は南北戦争が終結した1865年以降、19世紀の後半に集中しています。この時期に誕生したスポーツの持つ競技理念やルールは、アメリカの社会や文化をどのように反映しているのでしょうか。

ヨーロッパ型フットボールやボクシングがもともと是一人の絶対的審判によって裁かれるのとは異なり、複数の審判によって進められ、入れ替わり立ち替わり選手が登場する野球は、多くの選手に出場の手がかりが与えられています。また日本のプロ野球のように親会社の広告媒体として存在するのではなく、「シアトル・マリナーズ」「ニューヨーク・メッツ」のチーム名に代表されるように、アメリカにおける野球は地域社会の公共財として存在しています。自由と平等の理念を持ち、移民国家であるアメリカの社会形成において、スポーツは人種の壁や性差別への挑戦の舞台ともなり、きわめて民主的な発展を遂げています。

スポーツの世界が現実の社会の出来事とどのようにリンクしているのか、アメリカの持つ社会問題の解決に向けてスポーツがいかなる役割を果たしてきたのか、スポーツの持つ社会形成と文化創造の可能性についてお話しします。



イメージ

講師 鈴木 透（慶應義塾大学法学部教授）

1964年東京都生まれ。慶應義塾大学文学部卒業、慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。専攻はアメリカ文化研究、現代アメリカ論。著書に『スポーツ国家アメリカ——民主主義と巨大ビジネスのはざままで』（中公新書、2018年）、『実験国家アメリカの履歴書——社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡（第2版）』（慶應義塾大学出版会、2016年）、『性と暴力のアメリカ——理念先行国家の矛盾と苦悶』（中公新書、2006年）、『現代アメリカを観る——映画が描く超大国の鼓動』（丸善ライブラリー、1998年）など。

開催概要

- 日時：2018年11月14日（水）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341
ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/